

令和2年度の防災事業実績について

1 非常用備蓄食糧等の整備

(決算見込 3,089千円)

食糧及び生活必需品備蓄

区分	購入数	2年度末	目標値
災害救助用クラッカー(食)	7,700	34,300	55,510
ハーベスト(食)	—	5,760	
ビスコ(食)	3,000	15,000	26,100
おこげ(食)	1,800	9,000	10,800
おかゆ(食)	2,240	2,240	14,240
粉ミルク(回)	960	1,920	—
飲料水(500ml)(本)	2,880	17,280	—
毛布(枚)	—	16,062	—
紙オムツ(大人・小人)(枚)	—	8,200	—

※目標値の考え方

令和3年1月1日現在 人口 69,403人 目標値の算出基準 人口 69,500人	① 避難者を全人口の30%、熱源使用不能状態が2日間続くと想定。 ② 必要とされる初期応急食糧数量(2日間のうち最初の1食は発災直後であり考慮せず、2日間で5食とした。)104,250食に帰宅困難者対応分2,400食(800人×3食)を加え合計106,650食を備蓄目標に設定。 【飲料水・米・生活必需品については、麒麟麦酒(株)始め16事業所と協定】
--	--

2 耐震診断・改修費等補助事業 (決算見込 診断1,039千円、改修2,000千円、住宅除却600千円)

ブロック塀等撤去 747千円)

■耐震診断

令和2年度	
件数	執行額
22件	1,039千円

実績

年度	件数
平成29年度	12件
平成30年度	17件
令和元年度	14件

■耐震改修

令和2年度	
件数	執行額
2件	2,000千円

年度	件数
平成29年度	3件
平成30年度	1件
令和元年度	2件

■住宅除却

令和2年度	
件数	執行額
3件	600千円

年度	件数
平成30年度	1件
令和元年度	5件

■防災ベッド…申請なし

実績	
年度	件数
平成27年度	1件

■耐震改修相談会

令和3年2月5日(金)実施
相談件数・・・1件

■ブロック塀等撤去

令和元年度	
件数	執行額
10件	747千円

実績

年度	件数
平成30年度	13件
令和元年度	10件

■耐震シェルター…申請なし

実績なし

3 空家解体促進費補助事業

(決算見込 1,600千円)

■空家解体促進費補助金

令和2年度	
件数	執行額
8件	1,600千円

実績

年度	件数
令和元年度	6件

4 地域防災リーダー養成講座(中止)

新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、養成講座・フォローアップ講座(養成講座の修了者を対象に開催)は中止とした。

5 東海豪雨20年事業(一部実施)

新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、市民参加による道路側溝清掃事業などは中止とし、市立図書館におけるパネル展示及び成人式における記録映像放映のみ実施した。

6 国土強靱化地域計画策定事業

(決算見込 6,578千円)

事前防災及び減災その他迅速な復旧復興に資する施策を総合的かつ計画的に実施し、大規模自然災害等から市民の生命、身体及び財産を保護するとともに、大規模自然災害等の生活及び経済に及ぼす影響を最小化するため、令和2年度末に清須市国土強靱化地域計画を策定する。

7 地域の自主防災訓練実績(令和3年3月1日時点)

地区	実施町内会数	ブロックでの実施	参加者数
西枇杷島	0町内会	2ブロック	44人
清洲	1町内会	4ブロック	115人
新川	0町内会	3ブロック	82人
春日	0町内会	0ブロック	0人
合計	1町内会	9ブロック	241人

【主な訓練内容】

避難訓練、初期消火訓練、AEDを使用した救命訓練、三角巾による応急手当訓練、簡易担架を使用した救急訓練、防災資機材の点検、ハザードマップの確認 など

8 自主防災組織強化事業

(決算見込 ハード4,408千円、ソフト231千円、消火器684千円)

■自主防災組織補助金

申請数 24件(21ブロック)

【内訳】防災資機材購入事業(ハード事業) 申請数 23件(21ブロック)

自主防災組織活性化事業(ソフト事業) 申請数 1件(1ブロック)

※ハード事業・ソフト事業を両方活用したブロック…1ブロック

■消火器の消火薬剤詰め替え費補助金

申請数 20件

9 治水対策事業

■雨水ポンプ場改築事業 (決算見込 376,400 千円)

ポンプ場の改築及び更新のための実施設計・工事を行った。

堀江ポンプ場	：改築及び更新工事、実施設計	事業費	247,000千円
豊田川ポンプ場	：改築及び更新工事、実施設計	事業費	129,400千円

■雨水ポンプ場整備事業 (決算見込 29,409 千円)

ポンプ場を新規に整備するための埋蔵文化財発掘調査などを行った。

西清洲ポンプ場	：埋蔵文化財発掘調査	事業費	29,409千円
---------	------------	-----	----------

■幹線管渠整備事業 (決算見込 175,796 千円)

区分	計画延長	令和2年度
土田排水区	□2.4m×1.2mほか L=約484m	L=約72.8m
水場川右岸排水区	□2.7m×2.7mほか L=約300m	詳細設計

■清洲橋架け替え工事【県事業】

既設下部工部分撤去、右岸側橋台の一部施工を行った。

10 公共施設の耐震化事業

■橋梁改良費 (決算見込 30,000 千円)

五条川改修事業に伴って実施する船杣橋の架け替え工事で、耐震基準を満たす橋へ4年計画で実施しており、4年目に当たる令和2年度は橋梁上部工を実施した（令和2年7月供用開始）。

また、水場川改修事業に伴って実施する白弓橋の架け替え工事で、耐震基準を満たす橋へ3年計画で実施しており、2年目に当たる令和2年度は左岸側の下部工を実施した。

■橋梁維持費 (決算見込 90,000 千円)

野田町橋・北野橋について、耐震補強及び補修工事を行った。

11 避難所関連事業

■校舎長寿命化等改修事業 (決算見込 762,806 千円)

長寿命化改修工事の実実施設計（令和元年度策定）に基づき、古城小学校、星の宮小学校及び新川中学校の改修工事を行った。また、清洲東小学校及び桃栄小学校については、令和3年度の工事に向けて、長寿命化改修工事の実実施設計を行った。

■学校体育館防災用テレビ設置事業 (決算見込 4,598 千円)

指定避難所のうち、避難者が利用できる情報収集手段が未整備である学校の体育館に、情報収集手段としてテレビを設置した。

■マンホールトイレ整備事業 (決算見込 6,971 千円)

来年度下水道接続工事を実施する、指定避難所である新川中学校において、マンホールトイレを設置した。

12 防災行政無線関連事業

■学校施設の防災行政無線受信機整備事業 (決算見込 6,380 千円)

災害等発生時に、各小中学校において迅速な情報の把握、対応を行うことができるように、各学校に防災行政無線受信機を設置した。